



新津高等学校

発行 新潟県立新津高等学校 同窓会
新潟市秋葉区秋葉1-19-1
電話 (0250) 22-1920(代)
同窓会長 石川 幸夫
責任者 印刷所 阿部印刷機

御挨拶

新津高等学校同窓会
会長 石川 幸夫



三万余名の同窓生の皆様、お元気ででしょうか。
日頃は、皆様より同窓会活動に御理解と御協力を頂き、心より御礼を申し上げます。

さて、私は仏壇と神棚に時々手を合わせる位の、信仰とはややかけ離れた人生を送っておりますが、最近のイスラム教世界とキリスト教世界の対立等を見ると、何やら自己主張だけが先に立ち、相手を思いやらない現状に、正直落胆しております。

世界の政治も経済もそのような動きを加速しているような気が致します。
「世界の良識」はどこへ行ったのか。人類は本来もつ常識があり、他者を理解し、弱者を労わる存在ではなかったのかと、思うこの頃です。

それはそうと、信仰について私は数年前に松下政経塾出身の現在、志ネットワーク代表の上甲晃氏の講演を聞いて感動したことを思い出します。
上甲氏はある時、三人の偉人に会おうと決心しました。当時アメリカ大統領のビル・クリントン氏、チベットのダライ

Lama師、当時存命中のマザーテレサだったそうです。
彼自身の人脈を使い、ビル・クリントン大統領とダライ・ラマ師には、何とか面会出来、お話をさせて頂いて、感動したそうです。
しかしながら、当時あらゆる人脈を使いマザーテレサに会おうとしましたが、中々実現出来ず、ある時、決心して、直接インドの Kolkata に渡り、面会出来ず、二日後にはホテルを引き上げ、日本に帰る決心をしたそうです。

荷物をもとめてみると、ルームサービスの女性が来て、あなたは何故インドの Kolkata に来たのかと聞くので、自分ははるばる日本から来て、マザーテレサに何とか会いたいのと思い、二週間経ったのだが、どうしても会えない、残念だが、二日後には日本に帰ると言うので、ルームサービスの女性は、会おうの簡単な、と言ったそうです。明日は、日曜日、マザーテレサはミサのために「死を待つ人々の家」の教会に必ず来ると教えてくれたのです。なるほどと思い、次の日の朝、上甲氏は教会の

甲氏の講演で涙が出る思いでした。そして、私のささやかな人生にもいろいろの問題が起きた時、このマザーテレサの言葉を思い出します。
そうすると全ての問題が乗り越えられるような気がしました。
現代の混沌とした世界、社会、犯罪、そして、米大統領の子供じみた演説と、それを支える世界の警察だっただけの米国、EUを離脱する英国、私刑を繰り返すアジアの国、北朝鮮、シリアの内乱、世界各地の戦争、グローバルな経済戦争、世界に広がる貧困。それらを見る度にマザーテレサの言葉を思い出します。今日この頃です。人の英知は必ず良識ある、そして他人を思いやる世界を、築いてくれるはずだと信じております。いや、そう信じて皆で努力しようではありませんか。
同窓生の皆様の御健勝と御活躍を心より御祈り申し上げます。

新津高校の近況

新津高等学校(校長)
名誉会長 志田 重道



本同窓会の皆様、いかがお過ごしでしょうか。皆様に、日頃から、本校の教育活動に対して、物心両面に渡ってご支援をいただいております。心より御礼申し上げます。
昨年四月に母校である本校に赴任し、一年が経過しました。体育祭は、縦割りで一、三年生が、七組に分かれ、若者らしく澁刺と競技、応援等で競い合いました。多くの保護者や近所の方が応援や見学にいられており、新津高校への期待の高さを実感しました。最後に、恒例のフオークダンスがあり、高校時代を懐かしく感じました。部活動を頑張る生徒をみんな全員で応援しようという思いから、壮行会を復活しました。嬉しいことに、今春の卒業生の多くが、七月まで部活動を精一杯頑張ってくれました。地区大会や県大会で、勝つという気迫を持って、最後まで諦めずに取り組み、日頃の練習の成果を発揮しました。そして、部活動が終わると、気持ちを切り替えて勉強に励んでくれました。特に、一日十時間の勉強を行う恒例の夏季学習合宿に、二百名の生徒が参加したことに感心しました。また、十二月からの特別編成授業では、センター試験に向けて、本気で勉強に取り組みしていました。センター試験後、多くの生徒が、国立大学の二次試験に向けて学校で勉強していました。今春の卒業生は、勉強も部活もみんな、一杯一杯取り組んで、卒業したと思っております。

精神的につらいことが多く、途中で挫折しやすくなります。しかし、みんな頑張っていると、なんとなく頑張れる。励まされたりして、苦しくともなんとなく頑張れる。周りが頑張っている姿を見ると、頑張ろうという勇気が湧いてきて、諦めないで取り組んでみようという気持ちになれるのです。今春の卒業生の多くが、「受験も部活も団体戦」の精神で、頑張ったことでは大変嬉しいことであり、これからの新津高校生にも、受け継いでほしいと思います。
また、在校生には「新津高校部活動の四つの心得」①「礼儀正しく、元気に挨拶する」②「絶対に勝つという気迫を持つ」③「最後まで諦めない強い心を養う」④「三点固定と家庭学習最低二時間を継続する」(三点固定とは、起きる時間、寝る時間、勉強する時間を決めて、毎日その時間になったら実行すること。)を実践するように求めます。昨年度は、①③④については、多くの生徒が実践してくれました。②については、進路アンケートを見ると、実践できる生徒が増加傾向にあります。今後は、内容を精選し、効率が良く成果の上がる学習活動や部活動をすることが課題であると考えています。
さて、これからの社会では、「十分な知識・技能、それらを基盤にして答えが一つに定まらない問題に自ら解を見いだしていく思考力・判断力・表現力等の能力、これら基になる主体性を持つて多様な人々と協働して学ぶ態度」を身につける必要があるといわれています。つまり、人間力、教養、問題解決力が大切になるといことだと思えます。問題解決力とは、ざっくり言えば「自分の頭で考える力」といえるでしょう。考えるときには、知識や技能を多く身につけて、教養の幅が広がれば広いほど、多様な考えが生まれるものです。新津高校では、高校三年間で学ぶ教科・科目をしっかりと学習すること、知識や技能が身につく教育の幅が広がり、「考える力」が身につくと考えています。そのために、本校では、大学入試センター試験を五教科型で受験し、最後までしっかりと勉強し、教養の幅を広げて卒業してほしいと生徒に指導しています。卒業後も、勉強を怠らせず、教養を身につけて、考える力を身につけて、豊かに充実した人生を歩んでほしいと願っています。

新津高校の卒業生が「学ぶべき人の道」を実現するための基礎を身につけることができるように、私はじめ教職員一同は一杯取り組めます。
同窓会の皆様方には、これまで同様に、母校新津高等学校をご支援いただければ幸いです。これからも、よろしくお願いたします。

新津高等学校 平成29年度 村松大会
同窓会総会
期 日：平成29年6月18日(日)
総会 11時~12時
懇親会 12時30分~15時30分
会 場：割烹「新 瀧」
新潟県五泉市村松城町甲2114
TEL0250-58-7191
会 費：6,000円 (各支部でまとめて受付へお願いいたします)
申 込：同窓会事務局又は各支部へ
お問い合わせ：同窓会事務局(高校内 永井・佐藤)TEL0250-23-4272
(出来るだけ支部単位で取りまとめをお願いします)
平成29年5月末日まで厳守

Table with 4 columns: 名譽会長, 会長, 副会長, 審議員, 会計監査委員, 新津支部, 五泉支部, 新発田支部, 東京支部, 東浦原支部, 村松支部, 五十嵐支部, 関塚支部, 鈴木支部, 五十嵐千花, 鈴木紀夫, 関塚政行, 鈴木千花, 鈴木紀夫, 関塚政行, 五十嵐千花, 鈴木紀夫, 関塚政行, 五十嵐千花, 鈴木紀夫, 関塚政行

総会で役員変更がなされる場合があります。

各種大会成績報告

(平成28年度 新潟高校同窓会 激励一覧)

- テニス部女子(平成28年6月)長野市
 - 第50回北信越高等学校テニス大会(県大会 団体戦5位)
 - 3年 中村 倫・荒井桃菜・齋藤梨加・渡辺朱音 2年 長澤蒼生
- 少林寺拳法部(平成28年6月)新潟市
 - 北信越高等学校体育大会少林寺拳法競技(県大会 男子単独演武6位 同組演武8位)
 - 3年 塚野 智也(単独演武) 2年 五十嵐竜也・刈込 晃弘(組演武)
- 弓道部(平成28年6月)金沢市
 - 第46回北信越高等学校弓道大会(県大会 男子個人戦2位)
 - 3年 本間 寛也
- 囲碁将棋部(平成28年7月)東京都
 - 第40回文部科学大臣杯全国高等学校囲碁選手権大会(県大会 個人戦2位)
 - 3年 高橋 悠月(個人戦)
- 書道部(平成28年7月)広島市
 - 第40回全国高等学校総合文化祭書道部門(県高校総合文開催書道展審査にて推薦)
 - 3年 土屋 有花
- 水泳同好会(平成28年7月)長野市
 - 北信越高等学校体育大会水泳競技大会(県大会 男子50m自由形4位)
 - 2年 棚橋 希
- テニス部女子(平成28年7月)南魚沼市
 - 北信越ジュニアテニス選手権大会(県選抜)
 - 3年 荒井 桃菜(シングルス、ダブルス) 渡辺 朱音(ダブルス)
- 囲碁将棋部(平成28年8月)広島県尾道市
 - 第40回全国高等学校総合文化祭囲碁部門(県大会 個人戦2位)
 - 3年 高橋 悠月(団体戦)
- 弓道部(平成28年8月)鳥取県米子市
 - 全国高等学校総合体育大会第61回全国高等学校弓道大会(県大会 男子個人戦2位)
 - 3年 本間 寛也
- 吹奏楽部(平成28年8月)甲府市
 - 第22回西関東吹奏楽コンクール(県大会金賞(県代表))
 - 3年 長谷川雪乃・江川 莉穂・小林 朱音・津野麟太郎・江花 美穂・浦澤 円・津野真由子・半間のののか・間嶋 綾奈・南澤 夏琳・伊藤 真澄・豊島さくら・有本 千華
 - 2年 種橋 美和・松本 彩加・山下 歩夏・森田 楓子・高橋美奈乃・遠山 薫子・塚原 采未・風間 萌衣・古山 佳奈・今井 美那・瀧澤 美結・真庭 愛・吉川 七海・諏佐菜々子・村澤 穂香
 - 1年 中山 芽依・中村 竜馬
- 弓道部(平成28年11月)新潟市
 - 第6回北信越高等学校弓道新人大会(県大会 団体戦4位)
 - 2年 吉田 遥・剣持 佑香・佐藤なるみ・高塚 千尋
 - 第6回北信越高等学校弓道新人大会(県大会 個人戦2位)
 - 2年 高塚 千尋
- 弓道部(平成28年12月)名古屋市
 - 第35回全国高等学校弓道選抜大会(県大会 個人戦2位)
 - 2年 高塚 千尋
- 少林寺拳法部(平成29年3月)香川県善通寺市
 - 第20回全国高等学校少林寺拳法選抜大会(県大会 男子規定組演武1位 女子規定組演武2位 男子自由組演武1位)
 - 2年 大月悠矢 1年 宮北樹(規定組演武)
 - 1年 熊倉彩花 須藤楓(規定組演武)
 - 2年 五十嵐竜也 刈込晃弘(自由組演武)
 - (県大会 男子団体演武1位)
 - 2年 五十嵐竜也 刈込晃弘 八木智之 深井光一 入倉侑哉 大月悠矢
 - 1年 宮北樹 夏川英也

母校だより

同窓会入会挨拶

平成二十八年年度 学年幹事

廣川 義人



この度、同窓会学年幹事を務めさせていただくことになりました。廣川義人です。

私は中学の時、本校への入学を目標に勉強に励み、その甲斐もあり無事に本校へ入学ができました。入学式の日、これから本校の生徒になるという誇りを持ち、乙女坂を登りました。そして楽しい高校生活が始まるという期待を持ちながらも、その反面、授業についていけないかや友達はいないかなど不安も持っていました。入学してから数日

後にあつた福島へのスタートルップセミナー(宿泊研修)で今後の勉強の仕方、説明などがありました。その説明により、勉強に対する良い刺激を受け、またクラスメイトとの親睦も深められた良い機会となりました。その後、私はサッカー部に所属しました。サッカー部は部員が多いので、見習うべき先輩が多く礼儀なども覚え、また多くの仲間ができました。部活中、自分の想像通りのプレーができなかつたり、きつい練習で心が折れそうになることもありました。仲間がいたおかげで、互いに励まし合い、辛いことも乗り越えることができました。そして、部活動が忙しい中も、

勉強を怠ららず、学校行事にも積極的に参加して過ごした三年間は、これからの私の人生において大きな自信となり、生涯の中で大切な日々となると思います。

私達は今、この伝統ある新潟高校を晴れて卒業しました。これからは一人一人が自分の道を歩み進んでいきます。新潟高校で過ごした日々、仲間や先生方、地域の方々、そして家族の支えがあったことで今の自分があるという感謝を忘れず、これからの人生を歩んでいこうと思います。そして、同窓会の一員として、幹事に努めていく所存です。

最後にになりましたが、今まで私達を支えてくださった全ての方々に感謝を申し上げますと共に、まもなく創立百周年を迎える伝統ある本校の卒業生であるという誇りを持ち、新潟高校の更なる発展を祈願し、入会の御挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願い致します。

今年度は、七クラス(二七五名)が卒業していきましました。

国立大学の受験結果は、合格実人数が七一名(二六%)で、昨年度の二九%には及ばなかったものの、合格延べ数は八二名と、昨年度並みの合格数を出すことができました。上位者については、北海道大学や金沢大学、首都大学東京などに合格・進学しています。また、浪人生も、東京大学理科大学の合格を始め多くの卒業生が国立大学に合格しました。東京大学合格は平成一六年の京都大学合格以来一三年ぶりの快挙であり、新潟高校在校生にとつて大きな励みになったと思います。

さて、私立大学は合格者数の厳格化に伴い、特に難関私立大学で合格者を大きく絞つたことで早稲田・慶応・上智・東京理科大学・MARCHで合格者が一〇名と苦戦を強いられました。一方日本・東洋・駒澤・専修は、国立大学の併願校として多くの生徒がチャレンジして、延べ一〇四名の合格(昨年七六名)を出しました。

近年、大学受験は現役進学の意識が高まり、本校でも国立大学出願者の多くが私立大学を併願しました。私立大学の併願受検は、国立大学の滑り止めだけでなく、国立大学二次試験の練習台・よりレベルの高い大学へのチャレンジなどの意味もあり、全国的にも現役で私立大学を複数受験することが標準的になっていきます。本校生徒一人の私立大学平均受験数

進学状況

最後に、新一年生は現役の大学入試センター試験最後の学年となります。文部科学省は二〇二〇年度の新共通テスト(大学入学希望者学力評価テスト(仮称))について四月以降に実施案を示す予定となつていきます。まだまだ見えない部分が多々ありますが、情報収集を的確に行い皆様に正確な情報をお伝えできるように努めていきたいと思っております。

最後に、新一年生は現役の大学入試センター試験最後の学年となります。文部科学省は二〇二〇年度の新共通テスト(大学入学希望者学力評価テスト(仮称))について四月以降に実施案を示す予定となつていきます。まだまだ見えない部分が多々ありますが、情報収集を的確に行い皆様に正確な情報をお伝えできるように努めていきたいと思っております。

最後に、新一年生は現役の大学入試センター試験最後の学年となります。文部科学省は二〇二〇年度の新共通テスト(大学入学希望者学力評価テスト(仮称))について四月以降に実施案を示す予定となつていきます。まだまだ見えない部分が多々ありますが、情報収集を的確に行い皆様に正確な情報をお伝えできるように努めていきたいと思っております。

最後に、新一年生は現役の大学入試センター試験最後の学年となります。文部科学省は二〇二〇年度の新共通テスト(大学入学希望者学力評価テスト(仮称))について四月以降に実施案を示す予定となつていきます。まだまだ見えない部分が多々ありますが、情報収集を的確に行い皆様に正確な情報をお伝えできるように努めていきたいと思っております。

本校卒業生の上級学校進学状況

年度	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
在席	315	318	314	312	279	316	315	275	279	269	275
(クラス数)	(8)	(8)	(8)	(8)	(7)	(8)	(8)	(7)	(7)	(7)	(7)
大学	国公立	79	89	89	68	66	98	79	98	83	67
	の合格数	81	94	97	72	75	113	89	121	103	82
短大	国立	15	23	2	1	2	0	2	1	1	0
	私立	10	8	21	9	6	14	9	12	9	9
大学短大計	247	258	258	225	217	249	235	232	221	229	230
進学率(%)	78.7	81.1	80.0	72.1	77.8	78.8	74.6	84.4	79.2	85.1	83.6
専門学校	21	19	21	26	29	34	32	28	25	25	26
合計	268	277	279	251	246	283	267	260	246	254	256

就職状況

就職希望者	性別		計
	男	女	
決定者	1	0	1
計	1	0	1

<合格大学>

- 新潟大24 山形大4 富山大4 信州大2 福島大2
茨城大2 長岡技術科学大1 上越教育大1 北海道大1
秋田大1 群馬大1 金沢大1
- 新潟県立大12 高崎経大4 秋田県立大2 会津大3
前橋工科大1 首都大学東京1 山形県立医療保健大1
福井県立大1 都留文科大1 長崎県立大1
- 新潟医療福祉大56 新潟薬大24 新潟国際情報大14
新潟青陵大13 新潟経営大5 新潟リハビリ大7
敬和学園大3 新潟工科大6 新潟産大2

- 千葉工大57 日本大43 東海大31 東洋大22 金沢工大22 専修大20 駒澤大19 大東文化大14
帝京大14 神奈川大13 文教大10 獨協大8 拓殖大8 東京電機大6 亜細亜大5 中央大5
高崎健康福祉大4 創価大4 関東学院大4 東北学院大3 城西大3 國學院大3 芝浦工大3 東邦大3
北陸大3 近畿大3 東京福祉大2 神田外語大2 青山学院大2 桜美林大2 大正大2 法政大2
明治学院大2 大阪体育大2 明治大2 明治大1 流通経済大1 大妻女子大1 工学院大1 国士館大1 玉川大1
東京家政大1 日本赤十字看護大1 東京都大1 中京大1 大谷大1 京都産業大1 他



弓道部 第37回北信越国体弓道競技(長野県飯田市)



少林寺拳法部 第20回全国高等学校少林寺拳法選抜大会(香川県善通寺市)



吹奏楽部 第22回西関東吹奏楽コンクール(山梨県甲府市)

新潟市歴史博物館平成29年夏期企画展

「乙女たちの歩み～新潟の女学校と女学生」

会期:平成29年7月15日(土)～9月3日(日)

会場:新潟市歴史博物館本館1階 企画展示室

※新潟歴史博物館で、新潟の女学校に関する企画展が開催されます。新潟高等女学校時代の資料も展示される予定です。

活躍する同窓生たち

改めて故 藤井ミツ先生に感謝

志田 東亜

今年で生まれてから七十五年、後期高齢者になります。新津第二小学校、新津第五中学校を経由して、新津高校へ入学、昭和三十六年に第十三期生として卒業しました。高校時代の三年間は、全て故藤井ミツ先生に担任頂き、独特のリーダーシップに牽かれ、とうとう、藤井先生が専門の化学を好きになってしまいました。大学でも工学部・工業化学科で主に有機化学を専攻し、昭和四十一年三月に卒業し、四月にエッソ石油に入社しまし

た。今でも覚えていますが、同社入社時の面接試験で、「なぜ、化学を専攻したか？」の問いに、とっさに、「物質A、B、Cを反応させ、違う物質を合成させる場合、その原料の量・割合、温度・圧力等の反応条件により、生成物質が変わる等、色々な可能性を追求できる面白さがある。」と、真剣に答えたことを思い出します。ひよっとしたら、この答えが受け入れられ、入社が決まったような気がします。故藤井先生に感謝、感謝です。

エッソ石油での三十四年間は主に産業用燃料油（主に重油）の営業に携わりましたが、こども、ハイドロカーボンの石油に対して化学の基礎力が要所で発揮されたことを思い出します。こども、故藤井先生に感謝、感謝です。

平成十二年にエッソ石油を退職し第二の職場を得て、平成二十三年に専ら年金受給者として生活をしていきます。ほぼ十年前には小田急線の新百合ヶ丘駅近傍にマンションを購入し、そこを最後の棲家としました。従って、最近では、新津へ行くのは、年に二、三回となり、八月のお盆に、山谷の福王寺に行き墓参りをします。他には、

高校のクラス会とか東京・板橋の下宿で一緒だった仲間とのゴルフ会・懇親会に出席するためだけになりました。東京支部では、十三期の仲間と年に一、二回会って、会食・駄弁り・カラオケ等を楽しみますし、ゴルフ仲間と木曾福島へ行き、紅葉を楽しみながらゴルフをするのも年中行事になります。当支部も人材不足で、昨年からは支会報の編集長を拝命することになり、今回の「活躍する同窓生たち」に寄稿することとなりました。

（川崎市在住）
昭和三十六年

我が母校新津高校

石本 修也



新津高校を卒業して四十年近く過ぎました。早いものだと想いつつ、年金支給までまだ十年近くあります。まだまだ頑張らねば、健康に注意する年ごろを迎えました。

高校時代の思い出を、過ぎし日を思い出して見ると、本当に楽しかったですね、体育祭・秋祭祭、

終わった後の、夜の仕上げ会、詳しくは書きませんが、もう時効です。悪友達との麻雀三昧、赤点の思い出、二年時の数II Bのテスト、確か十三点・八点・五点、もちろん追試でもまったくダメ、でもなぜか進級できました。担任で数学担当T先生、いまでも感謝しています。こう書いてみると、ただ遊んでいただけじゃな

いかなかったけれど、退部させられる事なく無事OBとなる事ができました。野球部では、体力・精神力・人間力、が鍛えられ、社会に出てからも、現在でも大変役立つと思います。

先輩、後輩、S部長、N監督、感謝します。卒業後、大学進学、就職と十年あまり東京で過ごし故郷に戻りました。十数年後に我が子が新津高校に入学し、野球部へ入部、母校のグラウンドで練習している姿を見た時、目頭が熱くなった事を今でも覚えています。その後、野球部父母会長として、大会へ応援に行き、何度か母校の校歌を歌う事が出来ました。今でも大会が始まると、

年間三、四試合母校の応援に出掛けます。球場には、先輩方や後輩の姿も見られ、皆さんもまだまだお元気だなあと、いつも楽しみにしています。試合に勝って歌う校歌「ひろらなり、越の蒲原、豊かなり、阿賀野の流れ……」

（五泉市在住）
第三十一回卒
昭和五十四年

活かされるルーツ

八木 正成



はじめに笠原祥太郎選手、プロ野球中日ドラゴンズ入団おめでとうござります。新津高校野球部出身者として創部以来の快挙はご本人の野球への尽きない情熱、努力はもとより監督はじめご家族、関係された皆様のサポートがプロ野球選手という一つのカタチとなったものと野球部OBの一人としてとてもうれしく、誇らしく思います。この場をお借りしてお慶び申し上げます。

野球部は代々部活への取り組みが熱心で秋祭祭に向かつて学内が盛り上がりつつある最中でも体育祭、修学旅行であろうがいつも野球を一番に高校生活を送っていたことを思い出します。もういわゆる「ススポ魂」を地で歩いてきたわけですね。そのような高校生活でしたから、いわゆる楽しい高校生生活とは違ったものかもしれない。私達選手も求められていません。より積極的に、多くの時間を費やしていただいた左近、小林両監督、両親への感謝、チームプレイに必要なコミュニケーション力を育ててくれた先輩、後輩、グラウンドで同じ目標に向かつて努力し続けた仲間たち。思い返せば社会に出てからはなかなか気付けぬ、得難い大切な事を沢山経験し成長できたと思えます。

今私は地元五泉市で家を継ぎ薬剤師として働いております。薬剤師は健康を害した患者さんがお薬の適切な選択、使用をして健康を取り戻すお手伝いをする仕事です。これまでも顔の見える地域のくすり屋さんとして商売をさせていただいており、これがこれからは人口減少、超高齢化社会において行政、医療、福祉の連携による地域社会へのさらなる貢献も求められています。より積極的に、多くの時間を費やしていただいた左近、小林両監督、両親への感謝、チームプレイに必要なコミュニケーション力を育ててくれた先輩、後輩、グラウンドで同じ目標に向かつて努力し続けた仲間たち。思い返せば社会に出てからはなかなか気付けぬ、得難い大切な事を沢山経験し成長できたと思えます。

（五泉市村松在住）
第四十四回卒
平成四年

今から十七年前、私は東蒲原の地に嫁ぎました。そして、子どもが生まれ仕事を辞めました。慣れない土地での子育てが始まりました。最初は知らない人ばかり。あたり前です。知らない土地にきたのだから。幼い我が子を連れて散歩していると、近所の人たちが声をかけてくれました。恥ずかしい気持ちもありましたが、笑顔で挨拶を返すとそこから話が始まりました。その瞬間、さっきまでの知らない人が、知っている人に早変わり。勇気を出して、自分から地域に飛び出してみると、気の合う人は結構いるものです。気の合う人とは「必ずしも同じ年代の人ではない」ということに東蒲原に来て気づきました。年代で垣根を作ってしまうのはもったいないことです。

子育てをしながら、子どもの発達に興味をもちました。三十歳手前で大学の通信課程で学び始めようと思いましたが、母であり、嫁であり……。一歩を踏み出すには躊躇する思いもありました。だけれども、妻でも、母でも、嫁でも「夢をもつていい」と思いました。家族の理解を得て学び始めました。家のことや子育てをしながらです。思い通りに学習が進まないこともありましたが、そんな時には無理をせず、時を待って、出来る時が来ることを信じながら今ある現実と向き合いました。家事や育児が中途半端にならないように頑張ったつもりでいます。私の至らな

（阿賀町在住）
第四十八回卒
平成八年

五十年前も自然災害が多かった！

宮崎 直樹



「古希を迎えた宮崎です」と、昨年の新津高校新潟支部総会で隣のテーブルに挨拶をしたら、「まだまだ若い！」と言う言葉が返ってきました。皆さんは全員私より先輩で、且つ、元気はつらつとさられていました。趣味や地域活動に精力的に活動さ

れているようで、私も先輩の皆さんから元気を貰っていました。さて、昨年は熊本や鳥取の地震、そして度重なる台風の上陸など多くの自然災害に見舞われましたが、今から約五十年前も自然災害の連続で、私

がこれまで体験した記憶に残る災害の出来事も全てこの時代でした。当時の災害の記憶を年

代順に記述すると、まず、昭和三十六年の第二室戸台風です。隣家の屋根が吹き飛び、電柱をなぎ倒して我が家に激突してきましたが、県内でも死者

が三十六名など大きな被害をもたらしました。今回調べたら、当時の県内の最大風速は三十七・七m/s（最大瞬間風速四十四・五m/s）だったので、この程度の強風だと毎年体験しており意外でした。次は昭和三十八年の豪雪です。中越地方を中心に交通機関はマヒ状態で高

校も数日休校となり、登校日はスコップだけを持参せよとの連絡がありました。そして、昭和三十九年の新潟地震です。私は高校三年で道路側の木造二階の教室でしたが、窓ガラスが割れ出したら全

（新潟市在住）
第十七回卒
昭和四十年

踏み出す勇氣

渡部栄里子



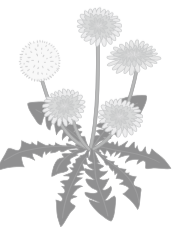
桜の季節がめぐってく

るたびに、新津高校の桜、そして高校生活を思い出します。高校時代から、今も変わらず私の宝とな

っているものはなんだろうと考えてみました。笑顔で挨拶、「心の許せる友人たち」「部活動で培った体力」どれも欠くことのできない大切なもの

です。高校生の頃は将来のことを考えるよりも、現実にある勉強や部活動のことで精一杯だったように思います。光陰矢の如し、今では我が子が高校生になり、あの頃の私と同じように勉強や部活動を頑張っています。

私は小学校の教員となり、忙しいながらも毎日楽しく過ごしています。四十歳手前で採用試験を突破し、教職の道へと進みました。高校生の私が聞いたら驚くことでしょう。



支部だより

東蒲原支部

支部長 坂井 政博

今年の冬は大雪になるのではないかとこの予報も出ていましたが、阿賀町は一月に入っても比較的穏やかな日が続き、十日までは積雪がありませんでした。しかし、十一日から五日間連続してかなりの雪が降り続き、根雪となつて以来、二ヶ月半の長い冬となりました。特に一月はJR警越西線の運休や遅れがあり、在校生をはじめ保護者の皆さんは大変な苦勞があったものと思います。山沿いの一部地域では平年並みの降雪量となりましたが、全体では昨年度と同様の暖冬少雪と言えるような状況でした。

また、平成二十三年七月の新潟・福島豪雨では、阿賀野川を中心に甚大な被害を受けました。阿賀町と五泉市の阿賀野川で新潟県が進めていた災害復旧助成事業と河川災害復旧等関連緊急事業の竣工式が三月五日、道の駅「阿賀の里」で行われました。阿賀野川で発生した水害に対し、堤防のかさ上げ工事は阿賀町白崎から五泉市佐取までの合計八・四キロで行われ、事業費約七十六億円をかけて実施され、堤防や護岸などが設置されました。東蒲原支部は平成九年五月に発足して、本年度節目の二十年周年を迎えます。

新潟支部

支部長 横山 道夫

●こんにちは
 一万余の新潟市在住同窓生の皆様お元気で御活躍のことと存じます。
 新潟支部は昭和五十一年発足、本年度で四十二年目を迎えます。支部活動を推進してこられた役員運営委員並びに本部総会支部総会などに積極参加していただいた会員の皆様に心から感謝申し上げます。

●平成二十八年度の活動
 支部活動の円滑運営を図るため、例年通り支部六役の打ち合わせ会を新潟駅前年度通じて四回集まりました。
 五月二十八日支部運営委員会を新潟駅前で開催し、二十名の出席のもと新潟本部総会出席や決算予算案等を審議いたしました。

●今後の活動に向け
 私共の活動は、同窓会本部活動の支援をはじめ会員相互の情報交換並びに親睦を深めることとあります。
 支部総会には部活、OB会やクラス会等の単位で参加される等それぞれ活動の一次会として利用されるなど盛り上げていただくべく新潟市在住の皆様よろしくお願いたします。

東京支部

支部長 桂 佑誠

今年には総会の開催年に当たり役員を中心に準備をすすめています。五月二十一日(日曜)品川プリンスホテルで開催しますが、詳細は後ほど支部役員、恩師の皆様にご案内する予定です。大勢の皆様参加をお待ちします。
 総会後のイベントにはフルートの演奏会を予定しております。
 支部開設から二十五年、かねてからの懸案であった支部名簿の整理を進めて行くことにしました。現在六百名程登録されています。しかし会費を納付して下さる方は半数の三百名にとどまっています。郵送料の値上げの話もあり財務状況もきつくなりそうなので六年以上出席も会費の納入もない方々に継続していただくかを確認するためアンケートを実施しました。

村松支部

支部長 安 中 守

日本各地で活躍する、村松出身の同窓生の皆様お元気の事と思います。早いものでまた会報発行の時期となりました。身近な話題で皆さんから興味を持って読んでもらえる話題を考えると手が止まってしまう。結局毎回同じような内容になってしまいます。村松支部では今年同窓会総会が開催されます。そのために昨年九月に第一回運営委員会を開きました。九名の方々から出席いただき、当日のおおまかな流れと役割分担等を決めさせていただきました。多くの方々からおいでい

いただき喜んでいただけるように準備を進めてまいりますのでよろしくお願いたします。
 ところで五泉市旧村松町には昨年度まで二つの中学校がありました。ほぼ同規模の中学校でしたが諸事情により今年度より統合され新生「桜中学校」としてスタートしました。校名は変わってもそれぞれの中学校の伝統と誇りは新しい中学校へと受け継がれていくものと信じています。そしてこれからは桜中学校から多くの優秀な生徒が新潟高校へ進学することを期待しています。又この中

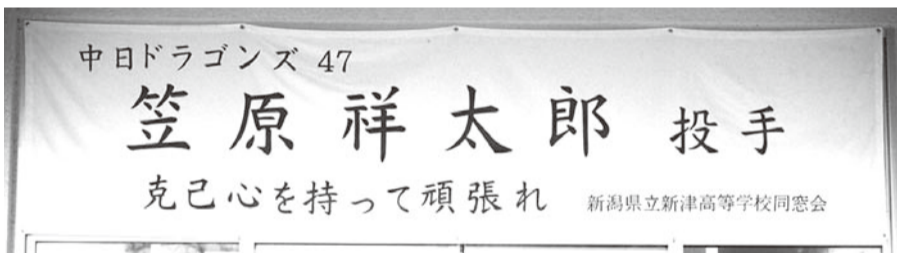
学校の卒業生と言えは身近な方がおられます。そのお一人がわが新潟高校の志田校長です。教員生活の集大成として新潟高校の発展の最後の力をお借りしたいと思えます。もうお一人は昨年記念講演をしていただいた山形大学農学部教授の安中武幸氏です。本校卒業後東京大学農学部に進まれ、研究生活を送られ現在に至っております。まだまだ皆さんの方々が各地で活躍しています。その誇りを糧にこれからも同窓会活動に励んでいきたいと考えております。最後に同窓会村松支部の方々、六月十八日地元「村松大会」に多くの方々から出席いただきますようお願いいたします。ご連絡お待ちしております。

五泉支部

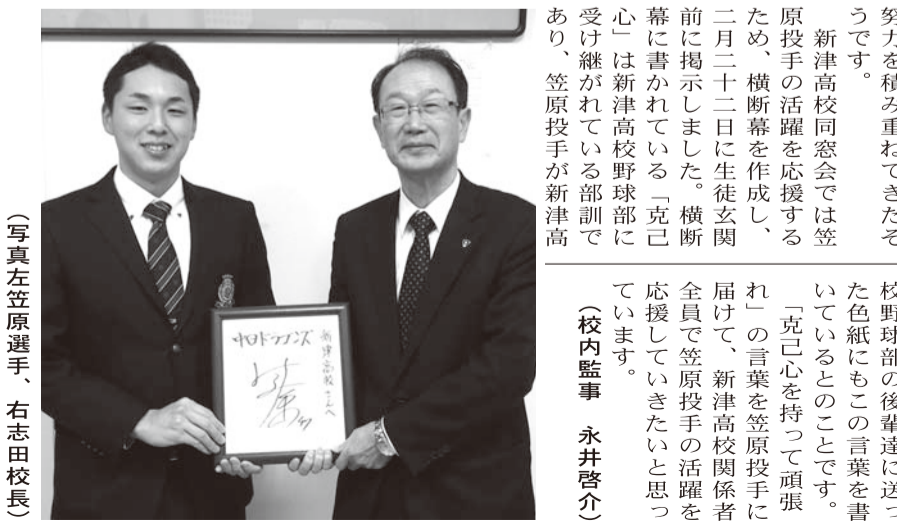
支部長 芹澤 一夫

新緑の候、若葉が映える、すがすがしい風が吹く季節になりました。同窓生の皆様、地域社会の中でお元気で活躍の事と思います。
 五泉支部の活動の一環で「新年懇親の集い」を一月二十日開催いたしました。卒業生九期生から六十一期生までの内、十六名の参加をいただきました。
 若手参加者より「同じ年代の同窓生達に声かけを行い、懇親を深めたい。多くの人と交流が出来る場として、参加者を集めたい、今回の交流が大変楽しく有意義でした」

また、年配参加者より「昨年、同窓会報での同期・同窓の集いのページを見て、写真に載っていた私を見た、三十五、四十年音信が途絶えていた友人から連絡が入り、再会が出来た。支部運営にも、がんばって来たプレゼントかな」
 感激一杯のお話をいただきました。
 新潟高校卒業の五泉地域の皆さん、ぜひ五泉支部会員として交流参加して下さい。歓迎いたします。



プロ野球選手誕生
 昨年十一月二十日のプロ野球・ドラフト会議で新潟医療福祉大の左腕・笠原祥太郎投手が中日ドラゴンズから四位指名を受けました。笠原投手は新潟高校第六十五回(平成二十五年三月)卒業であり、新潟高校出身者として初めてのプロ野球選手が誕生しました。本校野球部に在籍し、三年生の夏の大会にはエースとして県大会に出場しましたが、優勝した新潟明訓高校に二回戦でサヨナラ負けを喫し甲子園出場なりませんでしたが、高校卒業後に新潟医療福祉大に進学し野球部に入部しました。
 三年生では、関東甲信越地方の大学などが参加



(写真左笠原選手、右志田校長)

平成二十八年度 同窓会総会 新津大会

新津高校同窓会平成二十八年度総会は、六月十九日(日曜日)、本部主管により五年ぶりに母校の御膝下新津で開催されました。

会場となった割烹「新森」には、森ゆうこ元参議院議員(高二十七回)などお森さん、七月の通常選挙で見事返り咲き当選を果たされました。おめでとござい

ました。目黒正文(元県議会議員(高二十回)、熊倉淳一(秋葉区長(高二十七回)、今井重朗(前同窓会長(高七回)、志田重道(母校長(高二十九回)、川上洋母(校長(高三十九回)やお世話になった恩師の先生方など

の来賓の皆様と同窓生合わせて九十八名の皆様にご出席をいただきました。午前に行われた総会では、桂副会長による開会宣言に続き、物故者に対する黙祷が行われました。その後、石川会長、志田名誉会長、来賓を代表して、熊倉秋葉区長、川上母校長、川上母校長から挨拶をいただきました。

引き続き、石川会長を議長に選出したのち議事に入り、活動報告、決算報告、会計監査報告が事務局と坂爪会

計監査委員からなされたのち、議事に諮られ承認されました。続いて平成二十八年度活動計画並びに予算案が事務局から説明され、こちらも異議なく承認、可決

されました。また、本年度は、二年に一度の役員改選に当たっているため、新役員案が議事に諮られ、原案通りに承認されました。そ

の後、平成二十九年度総会が村松支部の主管で開催されること確認され、閉会しました。なお、閉会に先

立って、新潟支部の津野さんから新潟医療福祉大学四年の笠原祥太郎さん(高六十五回)が日米大学野球の日本代表に選出された場合

の対応について検討してもらいたい旨の意見が出されました。(笠原さんは、この時の日本代表からは漏れたものの、第四面で紹介したとおり、秋のドラフト会議で中日ドラゴンズから四位で指名されました。)

午後からの懇親会では、校歌斉唱に続いて石川会長所用で遅れて到着された沢野修(県議会議員(高二十回)から挨拶をいただき、山岸副会長の発声で開宴となりました。



(前校内幹事 田村 裕)

アトラクションでは、新潟を本拠に活躍するお笑い集団NAMARAの漫才コンビ、ジャックポットのお二人(ハルマキマキ&大野まさや)の公演に会場は笑いの渦に包まれました。恒例の福引きでもジャックポットのお二人が司会を務められ、軽妙なトークと演出で、なお一層の盛り上がりを見せていました。最後に次回総会開催主管支部の安中守村(支部長)からの挨拶に続き、懐かしい応援歌、学生歌を斉唱し、阿部周夫(副会長)の発声による万歳三唱で閉会となりました。

平成28年度 一般会計決算書

(自 平成28年4月1日 ~ 至 平成29年3月31日)

Table with 5 columns: Item, Budget, Actual, Change, Remarks. Section I: Income. Total: 2,971,840.

Table with 5 columns: Item, Budget, Actual, Change, Remarks. Section II: Expenses. Total: 1,796,354.

III 次年度への繰越金 2,975,379 - 1,796,354 = 1,179,025円

平成28年度 基本財産決算書

(自 平成28年4月1日 ~ 至 平成29年3月31日)

Table with 5 columns: Item, Budget, Actual, Change, Remarks. Section I: Income. Total: 2,614,312.

Table with 5 columns: Item, Budget, Actual, Change, Remarks. Section II: Expenses. Total: 0.

III 次年度への繰越金 2,614,312 - 0 = 2,614,312円

平成29年度 一般会計予算書(案)

(自 平成29年4月1日 ~ 至 平成30年3月31日)

Table with 5 columns: Item, Budget, Previous Budget, Change, Remarks. Section I: Income. Total: 2,998,025.

Table with 5 columns: Item, Budget, Previous Budget, Change, Remarks. Section II: Expenses. Total: 3,005,025.

平成29年度 基本財産予算書(案)

(自 平成29年4月1日 ~ 至 平成30年3月31日)

Table with 5 columns: Item, Budget, Previous Budget, Change, Remarks. Section I: Income. Total: 2,814,312.

Table with 5 columns: Item, Budget, Previous Budget, Change, Remarks. Section II: Expenses. Total: 0.

監査報告書

平成28年度新潟県立新津高等学校同窓会の決算について、関係帳簿、証拠書類等を精査したところ、この会計処理はいずれも適正であることを認めます。

平成29年4月14日

会計監査 青野 寛一 (青野) 会計監査 坂爪 一郎 (坂爪)

協力金のお願い

新津高等学校同窓会は、新入会員の入会金とこの会報の発行協力金で運営、活動をしております。

近年、学級数の減少(新入会員の減少)に加え、協力金も減少傾向にあり、同窓会の活動に影響が出てきそうな状況になってまいりました。事務活動の工夫節約では限界もあり、同窓会員のみなさまには、なにとぞ事情をご賢察いただき、同封の振込用紙で発行協力金をお納めいただきたくお願い申し上げます。お知り合いの方にもお声を掛け合っ、ご協力いただければありがたいと存じます。

新潟県立新津高等学校同窓会事務局

同期・同窓の集い



新潟高等学校 第39期 大同窓会
昭和62年3月卒業(高校第39回)大同窓会
(平成28年8月14日 ホテル日航新潟にて)



新潟高校同窓会 五泉支部「新年会員のつどい」
(平成29年1月20日 割烹 文福にて)



第21回 秋桜会 2016.11.19
昭和44年3月卒業(高校第21回)「秋桜会」
(平成28年11月19日 割烹 おぐまにて)



昭和33年3月卒業(高校第10回)3つの会
(平成28年7月17日 咲花温泉 佐取館にて)



昭和28年3月卒業(高校第5回)五期の会
(平成28年9月23・24日 湯田上温泉 わか竹にて)



昭和29年3月卒業(高校第6回)六期会スポーツの会
(平成28年3月27日 割烹 一楽にて)

各 支 部 連 絡 先

役 職	氏 名	卒業回数	郵便番号	住 所	電話番号
新潟支部長	横山 道夫	高15	956-0002	新潟県新潟市秋葉区市之瀬148	0250-22-5792
五泉支部長	芹澤 一夫	高17	959-1865	新潟県五泉市本町1-7-3	0250-42-0004
新発田支部長	井上 雅	高19	957-0054	新潟県新発田市本町4-5-7	0254-24-4547
東蒲原支部長	坂井 政博	高18	959-4606	新潟県東蒲原郡阿賀町五十沢2070	0254-99-2021
村松支部長	安中 守	高31	959-1733	新潟県五泉市安出12-1	0250-58-8019
東京支部長	桂 佑誠	高15	190-0033	東京都立川市一番町2-31-21	042-531-1830
事 務 局	校 内 幹 事		956-0832	新潟県新潟市秋葉区秋葉1-19-1 新潟高校内	0250-22-1920(代)

訃 報

心から ご冥福を
お祈り申し上げます

田中 洋一先生 (社会)

勤務期間 平成元年 4 月～平成 6 年 3 月

ご 逝 去 平成28年 8 月28日

連 絡 先

〒956-0832
新潟県新潟市秋葉区秋葉一十九一
新潟県立新潟高等学校同窓会事務局
TEL 02550-2211920
FAX 02550-2416340
http://www.niitsu-h.nein.ed.jp

(校内幹事)

事 務 局 よ り

昨年四月に母校へ教員として高校卒業後三十六年ぶりに赴任しました。私の在校当時(昭和五十五年卒業)には前校舎は木造であり、確か一年生の時には木造校舎で過ごした思い出があります。現在はすべて鉄筋の建物で教室棟は五階建て、各教室にはエアコン、電子黒板等先進設備が設置されています。ただ、第一体育館、鉄筋校舎も、三十年以上たつていので、耐震工事や改修は行われていますが、だいぶ古くなっているようです。あと四年で一〇〇周年が待っています、一〇〇周年に向けて準備がそろそろ始まろうとしています。皆様のご協力をお願いします。また、同窓会や同期会、クラブOB・OG会等を持ちましたら「同期・同窓の集い」のコーナーで紹介し、情報をお待ちしています。

又、今まで事務局を担当して下さった田村裕先生がご勇退されました。同窓会の発展の為に尽力下さいました事に役員一同深く感謝しております。最後に会員の皆様の健康と発展を祈念いたします。
(編集長 川名一弘)

編 集 後 記

さわやかな五月の風とともに同窓会報第四十三号をお届けいたしました。今回から副会長の山岸俊男さんから浅学非才の私川名が編集長を務めることになりました。よろしくお願いたします。暗いニュースもありましたが、我が母校からはじめてプロ野球選手が誕生した事は大きな喜びとなりました。第六十五回卒の筈原祥太郎君が中日ドラゴンズに入団いたしました。野球選手になるという夢を実現する為に、他人の二倍三倍、いやそれ以上の努力をされた事でしょう。同窓会員一同見守りながら応援していきます。今年度は勉強だけでなく各クラブ活動の活躍も多く、紙面の都合で見づらくなりました事お詫びいたします。藤井ミツ先生の想いが寄稿されていました。私がまだ小、中学生の頃、先生が私の店で可愛い花苗を手にして、私の母とにやかに談笑していたことを思い出しました。高校入学後、新潟高校の名物先生のお一人でエピソードも沢山ありましたから、皆様も懐かしく思い出されたことでしょうか。どうか同窓会員の皆様高校生活での思い出など、何でもお寄せ下さい。お願いします。